



2016年4月18日
株式会社ファンペップ

森下仁丹株式会社と株式会社ファンペップの
抗菌ペプチド「キュアペプチン®」の商品化に関する提携について

株式会社ファンペップ（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：平井昭光、以下「ファンペップ」という。）は、この度、森下仁丹株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：駒村純一、以下「森下仁丹」という。）との間で、抗菌ペプチド「キュアペプチン®」を配合した商品の商業化に関する覚書を締結いたしましたのでお知らせ致します。

「キュアペプチン」は、大阪大学における基礎研究を基に見出され、ファンペップが一連の知的財産権を保有している抗菌活性を有する合成ペプチドの新素材です。

ファンペップと致しましては、森下仁丹と提携することにより、同社が長年開発してきたオーラルケアやメディカルケア等のカテゴリーに属する商品に、当社の「キュアペプチン」が配合されることを期待しております。これにより、抗菌性が高く、かつ安全性に優れたキュアペプチン配合製品を開発できることは、市場において差別化できるだけでなく、今後、高齢化社会を迎えるにあたって社会貢献性も高い事業にもなるものと考えております。

今後、両社は、それぞれの強みを活かした協業により、キュアペプチン含有商品の企画開発を行ってまいります。

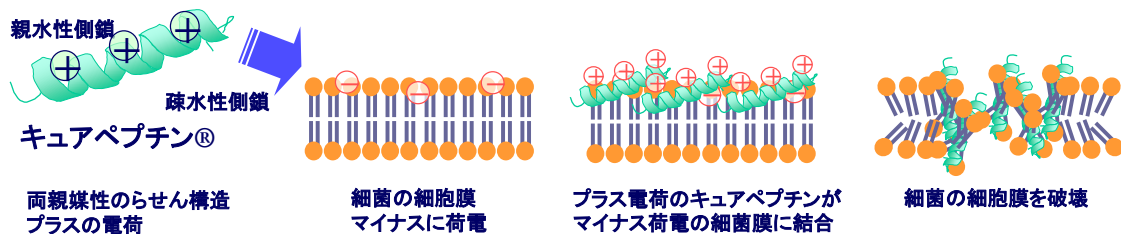
<抗菌ペプチド>

抗菌活性を有する短いペプチドで、人間の口腔内など哺乳類、両生類、昆虫に限らず植物等のあらゆる生物に存在し、抗菌作用を発揮するとされています。かつて、ある米国の研究者がアフリカツメガエルの手術を毎日のように行っていたが、特に傷口を消毒せずに飼育水に戻しても手術跡がきれいに治って元気に生きていることに気づきました。これをきっかけに、アフリカツメガエルの皮膚粘膜から傷口の細菌感染を防ぐ抗菌ペプチドを発見しました。昆虫ではこのような物質があることがわかっていましたが、脊椎動物では初めての発見でした。

抗菌ペプチド「キュアペプチン®」とは

天然型アミノ酸で構成される合成ペプチドで、細菌や真菌などに対して幅広い抗菌スペクトルを有しており、大腸菌、緑膿菌、アクネ菌、黒カビや歯周病菌などにも少量で効果を発揮します。また院内感染等で大きな問題になっている MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）や多剤耐性アシネトバクターなどの薬剤耐性菌にも野生型と同等の抗菌作用を発揮し、かつ薬剤耐性菌へと変異させるリスクが少ないとされているため、抗菌・除菌機能が必要な幅広い商品に応用する事が可能です。安全性においても少量で効果を発揮することができ、皮膚組織への悪影響が少ないことも特徴です。

抗菌ペプチド「キュアペプチン®」の抗菌活性



<お問い合わせ先>

株式会社ファンペップ 管理部

東京オフィス：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-8-4 第7 瑞穂ビル 3 階

Tel : 03-5315-4200

Fax : 03-5315-4203

E-mail : info-fpp@funpep.co.jp

以上